

一年の計は元旦にあり

毎年お正月になると、この言葉をよく見聞きしませんか？この言葉の意味が、「物事を始めるには、計画を立てることが重要だ」であることは、皆さんはもうご存知かと思えます。しかしながら、「毎年計画を立てはするんだけど、実現できたためしがないなあ」「毎年同じことを計画している気がする」という方も多いのではないのでしょうか。

実は、この「一年の計は元旦にあり」という言葉。出典である『月令広義』（中国・明の官僚が著した、中国の伝統行事やしきたりを解説したもの）において、三つの言葉とセットで説かれているのです。

- 一日の計は朝にあり
- 一年の計は元旦にあり
- 一生の計は勤めにあり
- 一家の計は身を修めるにあり

私たちは、新年の始まりにあたり、

「ああしよう」「これを目指そう」とあれこれ計画を立てます。しかし、いつしかその初心を忘れ、年末になってから後悔しがちです。一体それは何故でしょうか？

一つ目の理由は、何より「計画」をするだけで実行しないから。

二つ目の理由は、一年という長い期間での計画だけだと、ともすると忘れてしまったり、目標が高ければ高いほど、意欲を失ってしまうから。

三つ目の理由は、この世の中は必ずしも思い通りにならず、途中で投げ出してしまいうから。

この三つの理由を克服するために、「二日の計は朝にあり」の言葉通り、朝起きたらその日の計画を立てることをお勧めします。そして、朝その日の計画を立てたら、出来ることからでいいから、少しでも実行に移しましょう。もし、思い通りに行かなかつたら、翌朝またその計画を見直せば良いのです。

一年は一日の集まり、一生は一年の集まりです。先の人生を憂える前に、まずは、一日一日を大切に、日々過ごしてゆきたいものです。

「除夜の鐘」にお越しの方へ

近年、鐘を連続して何度も打つなど、マナーの悪い方が多く見受けられます。鐘を痛める原因となりますので、ご遠慮ください。また、「除夜の鐘」に出掛けるご家族にもお伝えくださいますよう、お願い申し上げます。

各種講座「新年 写経会」のお知らせ

平成二十二年一月三日（日）、当寺にて「新年 写経会」を開催いたします。新しい年を心静かにお写経で始めませんか？写経後には、お茶を飲みながら親睦を深める茶話会も行います。詳しくは、当寺事務所前にて配布しているチラシをご覧ください。ホームページ（PC）、携帯サイトをご覧ください。

※ホームページ、携帯サイトのアドレスは裏面に記載しております。

行事カレンダー（平成二十二年十二月～平成二十二年三月）

■一月一日 午前0時～ 元朝大般若祈祷（本堂）

・除夜の鐘（鐘楼堂）

大般若経を転読し、皆さまの災障消除・福寿無量をお祈りいたします。また、鐘楼堂で行う除夜の鐘は、一般に開放しております。

■三月十五日 午後十一時～ 涅槃会（本堂）

お釈迦さまの入滅「涅槃」にちなみ、その遺徳を追慕し、報恩感謝する法要です。恒例の「だんごまき」も行います。

■三月二十一日 午後十一時～ 春の彼岸会（本堂）

ご先祖さまに感謝し、自らの心を見つめ直す機会であるお彼岸。その中に行う法要です。

編集後記

今年、景気が昨年度よりさらに悪化するなど、将来に向けての不安がさらに高まる年となりました。来年は、お寺として、僧侶として、檀信徒のため、地域の方々のため、社会全体のために何が出来るかを考え、出来ることから少しずつでも実践してまいりたいと思います。〈編集担当・長岡俊成〉

次号のご案内 第三号は平成二十二年三月八日に発行予定です。

「行事予告・報告」「季節の法話」などを予定しております。